



2015年12月4日
在日米国商工会議所

ACCJ、第55代会頭にクリストファー・ラフルアーを選出

在日米国商工会議所（ACCJ）は、第55代会頭にクリストファー・J・ラフルアーを選出しました。任期開始日は2016年1月1日です。

ラフルアー次期会頭は、次のように抱負を述べています。「ACCJの次期会頭に選出されたことを大変光栄に思います。また、同じく今回の選挙で理事会のメンバーに選出されました皆様に祝意を表すとともに、今後も引続きACCJのミッションであります『日米の経済関係のさらなる進展、米国企業および会員活動の支援、そして日本における国際的なビジネス環境の強化』に必要な取組みを、新任ならびに現任の理事のメンバーとともに、進めて参ります。ジェイ・ポナゼッキ会頭の2年間の在任中の功績をたたえとともに、会長として彼女や他の理事のメンバーとともに活動できたことに心より感謝します」

ラフルアー次期会頭は続けて「次期会頭として、ポナゼッキ会頭が始めた数多くの成功を収めた取組みを継続しつつ、これからACCJが直面するであろう重要な課題に対処することに役立つ主要な取組みに注力して参ります。まず、ACCJの強みである積極的な会員活動や会員間の協力をベースに、3,000人を超える会員全員にとってより包括的で生産的な組織を築き上げていきたいと思えます。そのために、会員同士の交流やネットワーキングの機会を増やし、ソーシャルメディアにおける露出度を高めることでACCJのブランドを強化していきます。さらに、ACCJの政策提言における力強い活動は、会員の利益促進に大いに貢献してきました。私は、特に重要な環太平洋パートナーシップ（TPP）協定に焦点を置きつつ、政府やビジネスの主要なステークホルダーに対する政策提言活動を強化して参ります。構造改革や日本のさらなる経済成長の実現、そして活発な日米経済のさらなる拡大を後押しするグローバル・ベストプラクティスに基づく提言も引続き行って参ります」と述べました。

--略歴--

クリストファー・ラフルアーは、18カ国に拠点を持つ米国ワシントンDCに本社を置くコンサルティング会社であるマクラーティ・アソシエイツの日本のシニアアドバイザー。同社は、クライアントのグローバルな課題や機会の調査・精査、および国際的な目標達成に向けた戦略実行の支援などを手掛ける。

同氏は、現在東京に拠点を置き、DTCCデータ・レポジトリージャパン株式会社の会長やツネイシホールディングス株式会社の社外取締役、LMアソシエイツの代表を兼務する。さらに、モーリン&マイク・マンフィールド財団および国際学生会議の理事、世界的なソーシャル・アントレプレナー（社会起業家）ネットワークの先駆者であるアショカのアドバイザーも務める。

1973年から約35年間外交官として米国国務省に勤務した、日本に関するエキスパートの一人。東京・パリ・札幌での勤務を経て、国連へ米国代表の一員として派遣される。また、米国国務省ベト

ナム、ラオス、カンボシア担当オフィスディレクター、1993年から1997年の間に在台湾米国協会の副ディレクター、1997年から2001年の間は在日米国大使館首席公使、2001年から2003年には米国国務省東アジア・太平洋地域担当主席次官補を歴任後、将来の日米および米韓同盟を協議する米国国務省のチーム座長を務める。2004年から2007年、駐マレーシア米国大使。

米国オベリン大学卒業後、プリンストン大学ウッドロー・ウィルソン・スクールにて学ぶ。

ACCJでは同時に、副会頭1名、財務理事1名、理事7名（内1名は関西支部）を選出した。2016年の役員一覧は以下のとおり。

副会頭

＜新規選出＞

- アンドリュー・J・コンラッド（アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）常務執行役員・統括法律顧問、アフラック・インターナショナル・インコーポレーテッド シニアバイスプレジデント）

＜現任＞

- リアン・カツ（モンデリーズ・ジャパン株式会社 代表取締役社長）
 - マリー・キッセル（アボット グローバル・ガバメント・アフェアーズ 日本、中国&アジア パシフィック バイスプレジデント）
 - ジョナサン・クシュナー（クレアブ株式会社 代表取締役 マネージング・パートナー 日本・アジア代表）
 - エリック・セドラック（ジョーンズ・デイ法律事務所 外国法事務弁護士 プロジェクト&インフラストラクチャープラクティスグループ）

財務理事

＜新規選出＞

- ナンシー・ナガオ（EYアドバイザリー株式会社 パートナー）

理事

＜新規選出＞

- アリソン・バーチ（JPモルガン証券株式会社 人事部長、マネージング・ディレクター）
 - A. バリー・ハーシュフェルド、Jr.（AIPヘルスケアジャパン合同会社 代表）
 - タッド・ジョンソン（P&Wアフターマーケットジャパン株式会社 ゼネラルマネージャー兼代表取締役）

＜再選出＞

- ティム・ブレット（日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長）
 - レベッカ・K・グリーン（イー・アール・エム日本株式会社 プリンシパルコンサルタント）
 - 丸山純一（シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社 執行役員、ガバメント・アフェアーズ担当）

＜現任＞

- ジョン・D・ハリス（サイトリ・セラピューティクス グローバル・バイス・プレジデント兼

ジェネラル・マネージャー・セル・セラピー)

- ジョージ・L・マフェオ (ボーイング ジャパン株式会社 社長)
- アーサー・M・ミッチェル (ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所 シニアカウンセラー)
- サシン・N・シャー (メットライフ生命保険株式会社 取締役 代表執行役 会長 社長 最高経営責任者)
- 杉原佳堯 (グーグル株式会社 執行役員 公共政策・政府渉外担当)
- ウィリアム・J・スウィントン (テンプル大学ジャパンキャンパス ディレクター 国際ビジネス教育)

関西支部

副会頭<新規選出>

- ステファン・A・ザーカー (関西外国語大学 外国語学部 教授)

理事<再任>

- パトリック・ジョンソン (日本イーライリリー株式会社 代表執行役社長)

監査役<再任>

- クレイグ・マクガヴァン (ヒルトン大阪 副総支配人 財務経理担当)

以上

###

1509 J

—在日米国商工会議所について—

在日米国商工会議所 (ACCJ) は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外国経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係のもと、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間500以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任 (CSR) 活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室 (電話: 03-3433-6542; メール: external@accj.or.jp) までお願いいたします。